山口市立徳佐小学校　校長室だより　　ショウ　ガッ　コウ　（笑顔で　楽しく　考える）

徳佐笑楽考

ＮＯ６
令和3年5月19日
文責　山田英二

県知事の会見、そして、まさかの修学旅行延期・・・

以下１８日のKRYニュースからの抜粋です。このニュースを聞いたとき胸騒ぎがしました…。

村岡知事は、「大阪から山陽側、福岡まで山口県以外はみんな緊急事態宣言の区域になっていて山口県全体が大変大きい感染リスクにさらされている。何としてもここで踏ん張って県内へのウイルスの流入をしっかりと防いで感染の拡大を防いでいくことを全力を挙げてやっていかなければならない」と述べた。対策本部会議で、県は１８日から今月３１日までの２週間、感染拡大の防止に向けた集中対策を行うことを発表した。県民に対し不要不急の買い物や会合を控え旅行は県内外にかかわらず可能な限り延期し、外出の機会を半減するよう協力を要請した。また引き続き県外との往来を最大限自粛することも求めている。

この日の夜の９時半頃教育委員会から、私の携帯に電話があり、知事のこの会見を受け、明日（19日）、山口市のコロナウイルス対策会議が開かれ、修学旅行の中止を要請することになるだろうという話を聞かされました。「修学旅行は明後日からなのに・・・」と、まさに寝耳に水でした・・・。正直なところ、子どもたちの安全が第一とはいうものの、どうにか実施できないかと悩みました。

そして、19日。阿東の３校長でこの件について協議していたとき、正式に教育委員会から延期の指示が入りました。４時間目に６年生の子どもたちに延期の話を私から伝えました。子どもたちになんと話せばよいのかと子どもたちの顔をまっすぐに見られませんでした。しかし、子どもたちは私の目をしっかり見て、真剣に聞き、最後に校長先生の話を理解することができましたかと聞くと「はい」という返事。しかも、その後に「ありがとうございました」と・・・。涙が出てきそうになりました。同時に、この耐えがたい事実を子どもたちなりに受け止めてくれたことに、６年生の心の強さを感じました・・・。また、６年生の保護者の皆様におかれましても、突然のメール（６年生保護者のみ配信）にさぞ驚かれたことと思います。突然の連絡に苦情があっても仕方ないと思っていましたが、子どもたちと同様に冷静に受け止めていただき、言葉がありません。

修学旅行前日に延期なんて・・・。教職員生活でこんなことが起こるなんて考えたこともありせんでした。昨年度からのコロナ禍ではこれまででは考えられない予測不能な事態が現実にいくつも起こっており、今回の件を通して、このコロナ禍は、まさに緊急事態、いや非常事態なんだと改めて思い知らされました。

先日、校長研修会があり、教育委員会から山口県のコロナ感染状況が近いうちに「ステージ４」そして学校での対応は「レベル３」に引き上げられるかもしれないという話を聞いています。今後、学校現場に、より厳しい対応が求められるようになるかもしれません。教育委員会主催の行事で山口市合同音楽祭（今年度徳佐小は参加予定なし）、陸上記録会が中止の決定をされました。

現時点では、社会見学については教育委員会から中止等の指示が出ておらず、４年生のスケッチ大会、６月の３年生の地域めぐり、４年生の社会見学は、阿東３校の校長で実施の方向で確認をしています。しかし、状況によっては急遽延期あるいは中止ということもあります。加えて、今後、他の学校行事に関しても、児童の安全確保を最優先に考え、変更等の措置をとる場合も考えられますので、どうぞ、ご理解下さいますようお願い申し上げます。

しかしながら、コロナ禍だからといって、あれもだめ、これもだめでは、子どもたちの確かな学び、よりよい成長は望めません。コロナ禍の中であっても、できることを模索し、多様な学びの場が保障できるよう教職員一同努力したいと考えています。今後も子どもたちの安全を最優先にしながら、学校教育活動を進めていきますので、ご理解、ご協力を改めてお願いいたします。

今年のチャレンジ目標を話し合いました。修学旅行延期が決まった日の代表委員会だったので、6年生が沈んでいないかなと心配していましたが、気持ちを切り替えて下級生をリードしながら、今年もよい目標を決めてくれました（目標は後日お知らせします）。最近の子どもの傾向として我慢ができない、気持ちが切り替えられないということがありますが、代表委員会の様子からも、徳佐小の６年生は、心が育っているなと感心しました。